福井工業大学におけるキャリア教育の実施例

Example of Career Education in Fukui University of Technology

砂川 武義^{※1}
Takeyoshi SUNAGAWA

中安 文男^{※1}
Fumio NAKAYASU

1. まえがき

福井工業大学は、福井県福井市にキャンパスを構え、工学部9学科22コースを持つ大学です。本学は、平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム¹⁾に採択され、平成21年度～平成23年度の期間、事業名称「キャリア陶冶－高い倫理感を持つ専門職育成－」に対し取り組んでいます。

最初に事業名称に関して簡単に説明します。「キャリア陶冶（とうや）」とは、陶冶が人間のもって生まれた素質や能力を理想的な姿にまで形成することを意味しており、教育と厳密には区別しにくい概念ですが、教育が人間の成長に関する包括的な概念であるのに対して、陶冶は、知的・道徳的・美的・技術的諸能力を発展させることによって、よりよい人間を形成しようとするものであると定義しています。そこで、人間形成に重きを置いた「キャリア教育」を行うことを念頭に「キャリア陶冶」という言葉を作成しました。次に、「倫理感」は、個人が持つ倫理感覚に重きを置き「倫理観」と同じ音を持つ「倫理感」と記しています。「専門職」とは、医者、弁護士に代表されるコミュニケーション能力（説明責任能力）、専門資格及び倫理が求められる職業を意味しています。

本学の取り組みは、人間形成に重きを置いた高い倫理感覚を持つ専門職に就く職業人育成を目指すものです。本事業において学生が参加する講座、セミナーは全て「寺子屋式授業」形式をとっております。「寺子屋式授業」を取り入れ、低学年から高学年まで一緒に行うことにより、上級生は下級生の指導をとおして成長し、下級生は上級生を見習って成長することを狙っております。さらに、コミュニケーション能力、専門資格及び倫理の能力向上のために、対面授業及びeラーニングを併用するシステムを開発し、実践しています。

2. 平成22年度実施内容

平成22年度において実施した内容は、1 学生支援Web教材の作成、2 技術者倫理教授法の調査及び寺

子屋式技術者倫理講座の実施、3 コミュニケーション能力開発法の3点です。以下に実施例を含めて詳細を記述します。

2.1 学生支援Web教材の作成

平成21年度に導入した“FUJITSU Internet Navigator”を用いて、コミュニケーション能力開発、資格取得支援、技術者倫理講座に関する内容を基にeラーニングコンテンツを作成しました。eラーニングシステムを導入することにより、学生が時間、場所を選ばず、自分が必要とする情報及び講座を受講することが可能となっております。平成22年度作成したコンテンツは、就職支援〔参考〕、就職支援〔求人〕、就職支援〔面接〕、第二種放射線取扱主任者資格、工学倫理、QC手法等です。

2.2 技術者倫理教授法の調査及び技術者倫理講座の実施

技術者に必要な倫理感覚を理解させ、高学年生の意識を向上させることとともに低学年生における就職に関する心構え形成支援を充実させることを目的としています。以下に実施内容を記します。

平成22年7月20日東京工業大学田町キャンパスイノベーションセンター1階国際会議場において、日本原子力学会倫理委員会主催 第13回倫理研究会が開催されました。講師は、原電事業株式会社代表取締役専務平田 誠氏、弁護士 大澤孝征氏が務められ、本学より1年生から4年生の学生16名を派遣し、倫理に関する学習を行いました（図1）。

図1 第13回倫理研究会風景

2011年9月16日受付

※1 福井工業大学

図2 技術者倫理講座グループ討議風景

平成22年11月17日福井工業大学において、“技術者倫理講座開催”がされました。本講座は2部構成となっており、第1部において(株)東芝電力システム社原子力品質監査部部長 佐藤 要氏による「企業におけるコンプライアンス推進活動」と題する講演が行われました。第2部は、日本原子力学会倫理委員会幹事作田 博氏進行のもと、13名の原子力学会コーディネーターの先生方と学部1年生から大学院修士課程2年生までの学生27名が4グループに分かれて「技術者の倫理ケースブック3」²⁾を教材にグループ討議が行われました³⁾(図2)。

2.3 コミュニケーション能力開発法

本取り組みは、社会におけるニーズを把握し、就職支援(学生支援)を行う際の基礎データの収集を目的としています。以下に実施内容を記します。

“学生に対する就職指導の内、コミュニケーション能力開発”に対して、神戸製鋼所人事部次長、サンアルミニウム工業常務取締役等を歴任された小林詔三氏をコーディネーターとして招聘し、自己分析、企業の選び方、就職試験における面接対応等の内容を平成22年11月30日～平成23年2月9日合計20回実施しました。

平成22年11月12日福井工業大学において“キャリアデザインセミナー&ワークショップ”を開催しました。第1部は「プロデザイナーへの道…キャリア開発の実際」のテーマのもと住環境デザイン分野 太田竜平氏、プロダクトデザイン分野 平賀直武氏、メディアデザイン分野 松永大輔氏を講師に、セミナーを実施しました。第2部において「ポートフォリオワークショップ」を開催し、3名の講師からデザイン学科2年生作成の「作成ポートフォリオ」へのアドバイスをいただきました(図3)。

平成23年3月1日福井工業大学において福井県内の企業10社の人事部の方々を委員とする“有識者会議”

図3 キャリアデザインセミナー&ワークショップ風景

が開催されました。本会議において各員から、現在企業が本学学生に求めるもの、就職後の学生の状況等の話をもとに多くの有益なアドバイスを得ました。

3. あとがき

本学は、全国的に大学生の就職が厳しい中、本事業で得られたコミュニケーション能力開発教授のデータ及び技術者倫理教授手法の検討結果等を用いて、学生の就職対応能力を高める為の指導を行った結果、高い就職率を維持しております。本事業は平成23年度で終了しますが、この3年間に得られた成果を事業終了後も活かしていきたいと考えております。

参 考 文 献

- 1) 文部科学省, http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/1287836.htm
- 2) 日本原子力学会 倫理委員会編集: 原子力を中心とした 技術者の倫理ケースブック3～あなたの常識は、社会の非常識になっていませんか?～, 日本原子力学会, 2010
- 3) 日本原子力学会, [http://www.aesj-ethics.org/document/pdf/14kenkyukai.pdf#search=\(株\)東芝電力システム社 原子力品質監査部](http://www.aesj-ethics.org/document/pdf/14kenkyukai.pdf#search=(株)東芝電力システム社 原子力品質監査部)

.....

著 者 紹 介

砂川 武義

福井工業大学大学院工学研究科博士後期課程修了
福井工業大学, 教授
学生支援推進プログラム実行委員会主査
専門分野 放射線化学, 化学教育
学 位 博士(工学)
所属学会 日本化学会 等
連絡先 sunagawa@fukui-ut.ac.jp